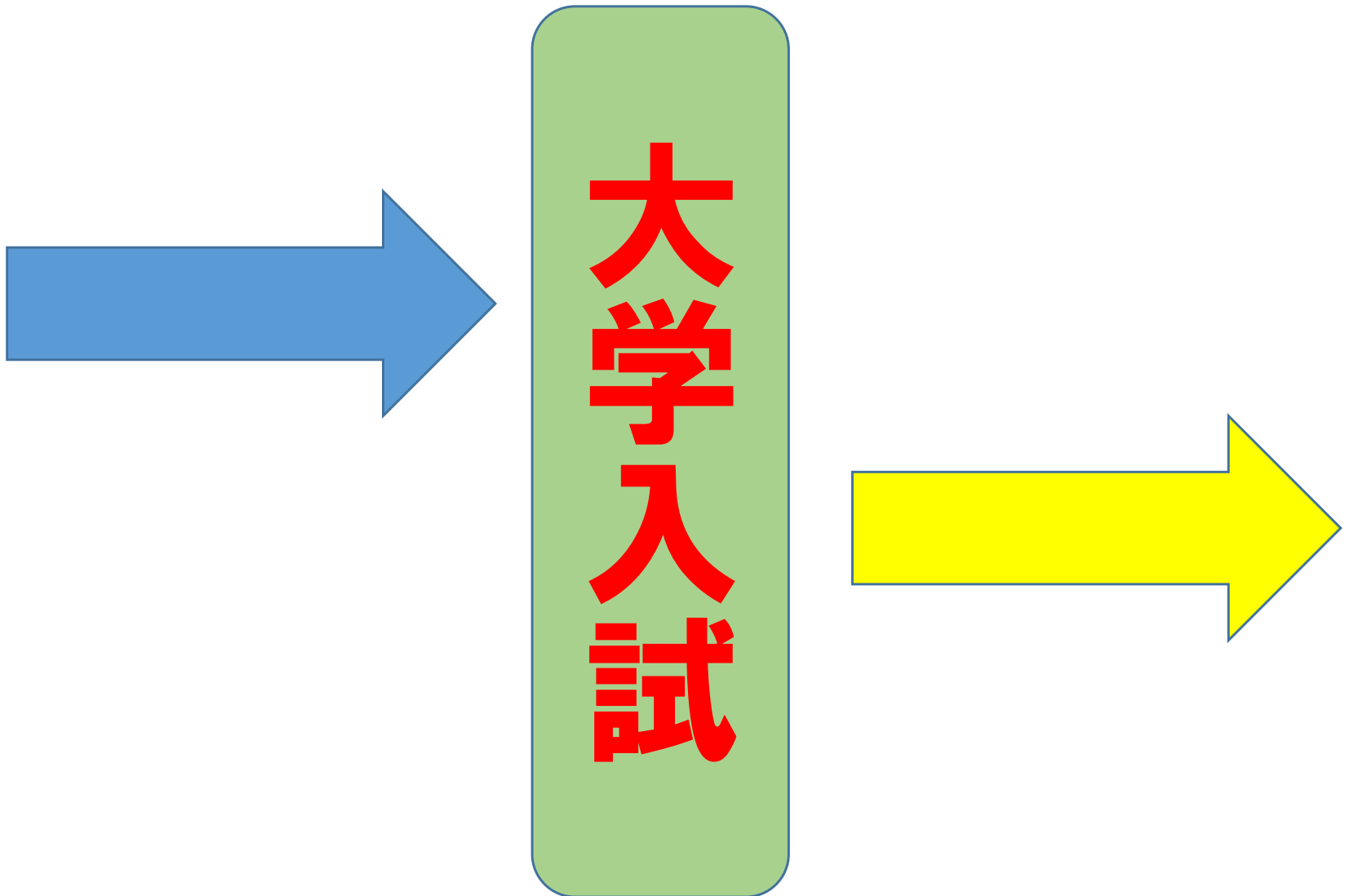


教育について考える

なぜ〇〇を学ばなければなら
ないのか？

世界（システム）（ゲーム）が変わる

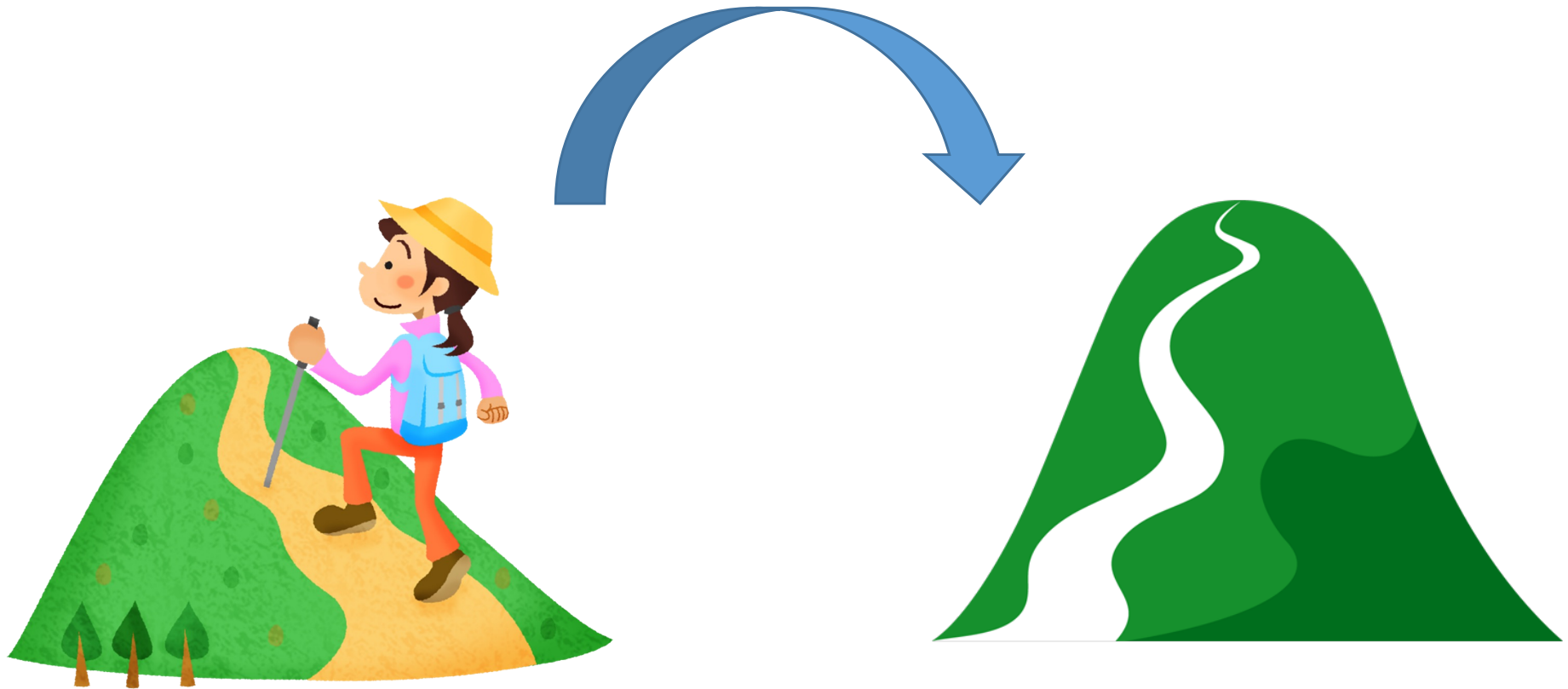


〇〇を勉強する

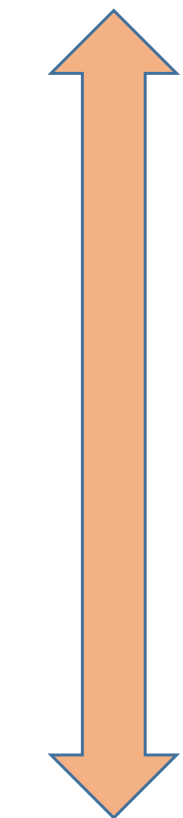
〇〇で勉強する

一つの山の登り
方を身につけて

他の山も登れる
ようにする

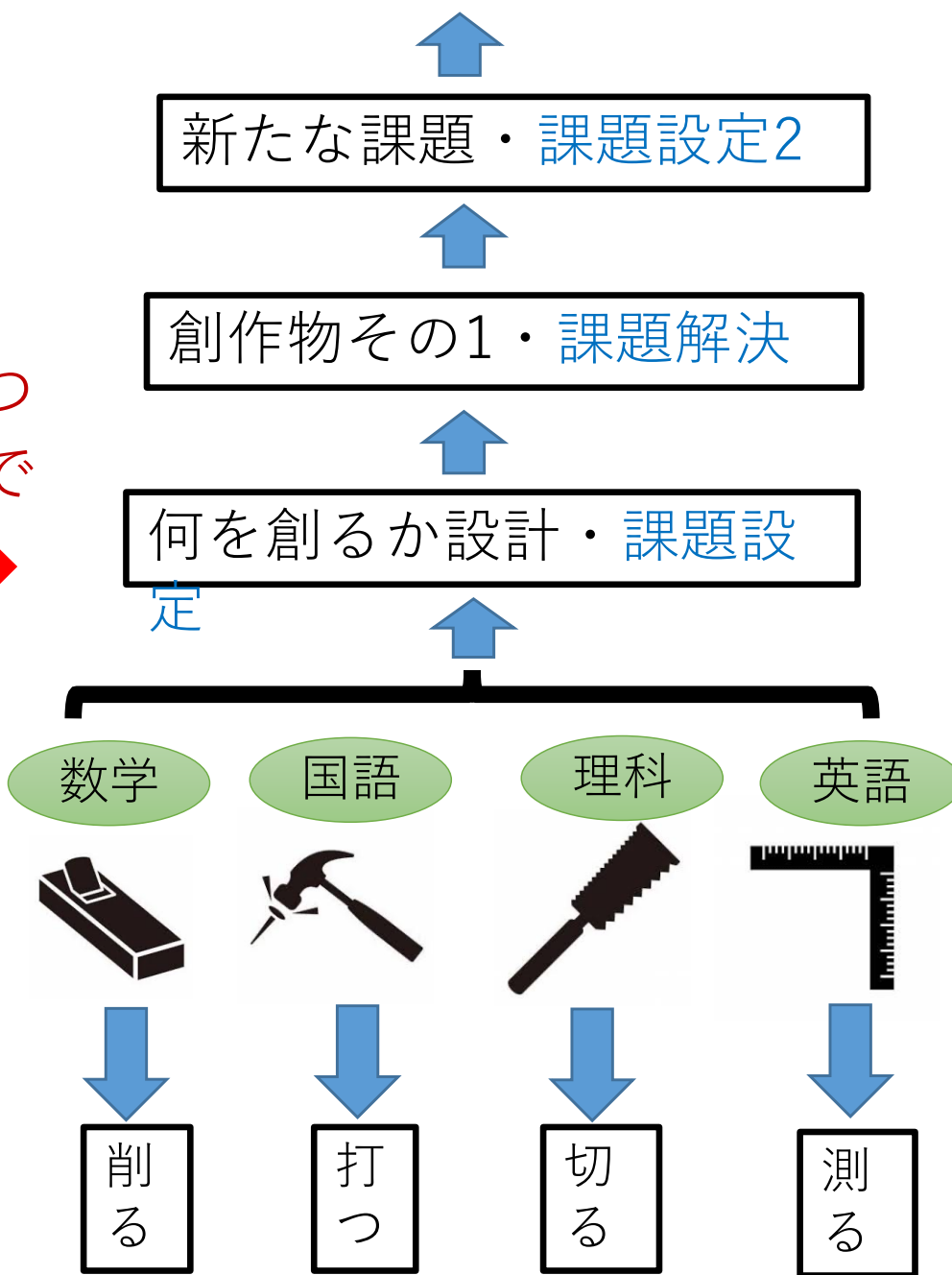


一般化
抽象的



個別化
具体的

点をつ
ないで
線に



ゴール別々
評価困難

新たな学
び

方向が逆

これまでの勉
強

同じゴール
評価容易

中世の教育と子供

中世ヨーロッパには**教育という概念も、子供という概念もなかった**。7～8歳になれば、徒弟修業に出され、大人と同等に扱われた。飲酒も恋愛も自由とされた。なぜ一線を7～8歳に引いたのかと言えは、この時期に言語によるコミュニケーションが可能になると考えられたためである。7～8歳以前の子供は動物と同じ扱いであり、大人がフリスビー代わりに投げ遊び、落として死なせたこともあるという。乳幼児死亡率が高く、5歳までは頭数に入れられなかった。

バンビーノ(スウォドリング)

エジコ

モンゴル・ロシア
南米の一部

(～現在まで)

日本

(～1955年頃まで)

ヨーロッパ

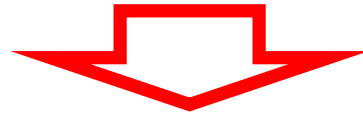
(～20世紀
前半まで)



世界と日本の教育の歴史

**教育には莫大なコストがかかる。
誰が何のためにお金を出したか**

**狩猟時代から分業が進み、専門の
知識が積み重ねられた 農業など**



**社会のニーズによって教育の内容
が変わってくる 原点は読み書き計算**

世界と日本の教育の歴史

政府が広い領地を統治するために
読み書き計算できる役人が必要



日本で義務教育が始まったのは
「富国強兵」のため→国のため



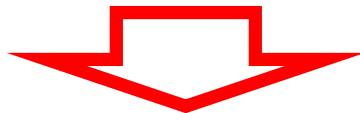
戦後に価値観が大変換 臣民→国民
個人の権利 個性の重視 人間とは

世界と日本の教育の歴史

これまではすべて生活教育 生きていくために必要な教育 → 産業革命



時間が生まれる 教育を考える
社会や人間の在り方を考える 少子化



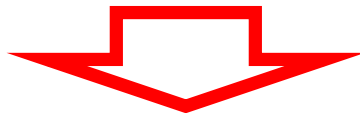
近代公教育制度 無償 中立 義務
民主主義 国民のための教育 機会均等

世界と日本の教育の歴史

これからの教育



教育の主体者が変化している
国家は私たちの教育主体者になれるか



自分たちが本当に欲しているものは
何か？ Well Beeng

学問の中心は「情緒」

～動物性と人間性～

天才的数学者が伝えたかったこと

磨くべきことは「理性」ではなく「情緒」
数学は自らの情緒を外に表現する学問芸術
数学を学ぶ意義について

学問も教育も「人」を中心として行うべき

最も人に対する知識が失われているのが幼児・義務教育
芽ならとにかく**早く育ててしまえ**というのが今の教育

成熟は早すぎるより遅い方がよい「動物性」を育てる危険
「他人より多く覚えろ」「動物性」は「人間性」の反対

動物的な生存本能や闘争本能に偏った教育になっていない
か？ 人間性のどの部分に注目するか？人間の頭を作るもの

岡 潔 春宵十話

「他人の痛みが分かる人」

つづき 1

人間性のどの部分に注目するか？人間の頭を作るもの
学問の中心、人間の中心は情緒 **情緒とは？**

例えばスマレを想像「やっぱりスマレの花は良いなあ」これが情緒による捉え方 情緒が失われるとただの存在しか認識しない
痛みを持つ人がいても何も感じない

「他人の痛みが分かる人」

情緒の鍛え方 直観を鍛え 善行を繰り返す

絶対直観 自分にとっての「正しさ」を信じ貫くことができる
これが弱いと他人の真似しか出来ない「自分」が消えていく

対策「少しも打算の入らない行為」を日常に取り入れる

情緒を磨く→益々良くなる「今日の情緒」が明日の頭を作る

情緒の中心こそ人間の表玄関である

岡 潔 春宵十話

○ 天才的数学者が伝えたかったこと

「道義的センス」を身につけること

道義の根本は「人の悲しみが分かること」

繊細な心の悲しみ 人の心が分からなければ、どんなことをやろうとしても緻密さが失われ雑になる。対象への細かい心遣いが出来ないから

今の教育は「**個人の幸福**」が目的となって 自分さえ満足すればそれで良いというのなら**動物をしつけるのと変わらない**

動物としての本能を磨くことでなく人間としての情緒を磨くこと **そのためには、人間の心の動きをよく観察しそれをくみ取るように導いていく必要がある。美しい話を聞かせ、人としての正しいことや恥ずかしいことを見極めるセンスを育てていかなければならない。大切なのはそれを教える人間の心**

天才的数学者が伝えたかったこと

「人の悲しみが分かること」とは「この人は悲しんでいるのだな」と**頭で理解することではない**。また「かわいそうだな」と**哀れむことでもない**。相手の悲しみを自分の悲しみとして捉えること **この繊細さがない**となにをやるにも緻密な情報が抜け落ちる マニュアル的に教え込んでも情緒は磨かれない

情緒を育てる教育とは？国語と歴史を学ぶこと

雨にも負けず 風にも負けず 雪にも夏の暑さにも負けず
丈夫な身体を持ち 欲はなく 決しておごらず
いつも静かに笑っている
一日に玄米四合と 味噌と少しの野菜を食へ 春宵十話

雨にも負けず 風にも負けず 雪にも夏の暑さにも負けぬ

丈夫なからだを持ち 欲は無く 決して瞋からず 何時も静かに笑っている

一日に玄米四合と 味噌と少しの野菜を食べ

あらゆる事を自分を勘定に入れずに 良く見聞きし判り そして忘れず

野原の松の林の影の 小さな萱葺きの小屋に居て

東に病気の子供あれば 行って看病してやり
西に疲れた母あれば 行ってその稲の束
を背負い

南に死にそうな人あれば 行って怖がらな
くても良いと言い 北に喧嘩や訴訟があれ
ば つまらないからやめろと言い

日照りのときは涙を流し 寒さの夏はオロ
オロ歩き

皆にデクノボーと呼ばれ 誉められもせず
苦にもされず

そういう者に 私はなりたい

**すぐに役立つ学びは
すぐに役立たなくなる**

好きなことを仕事にしたい
→好きなことだけでは仕事は成
り立たない

しなければならないことを好
きになるしかない

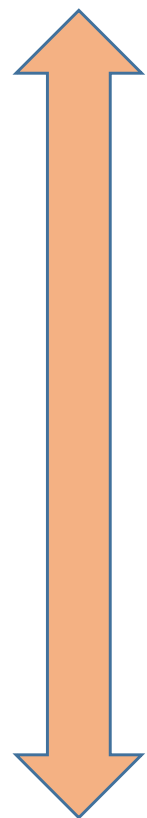
なぜなら、自分の生まれる前
から世の中はあったのだから

世の中には全員遅刻して来ている。

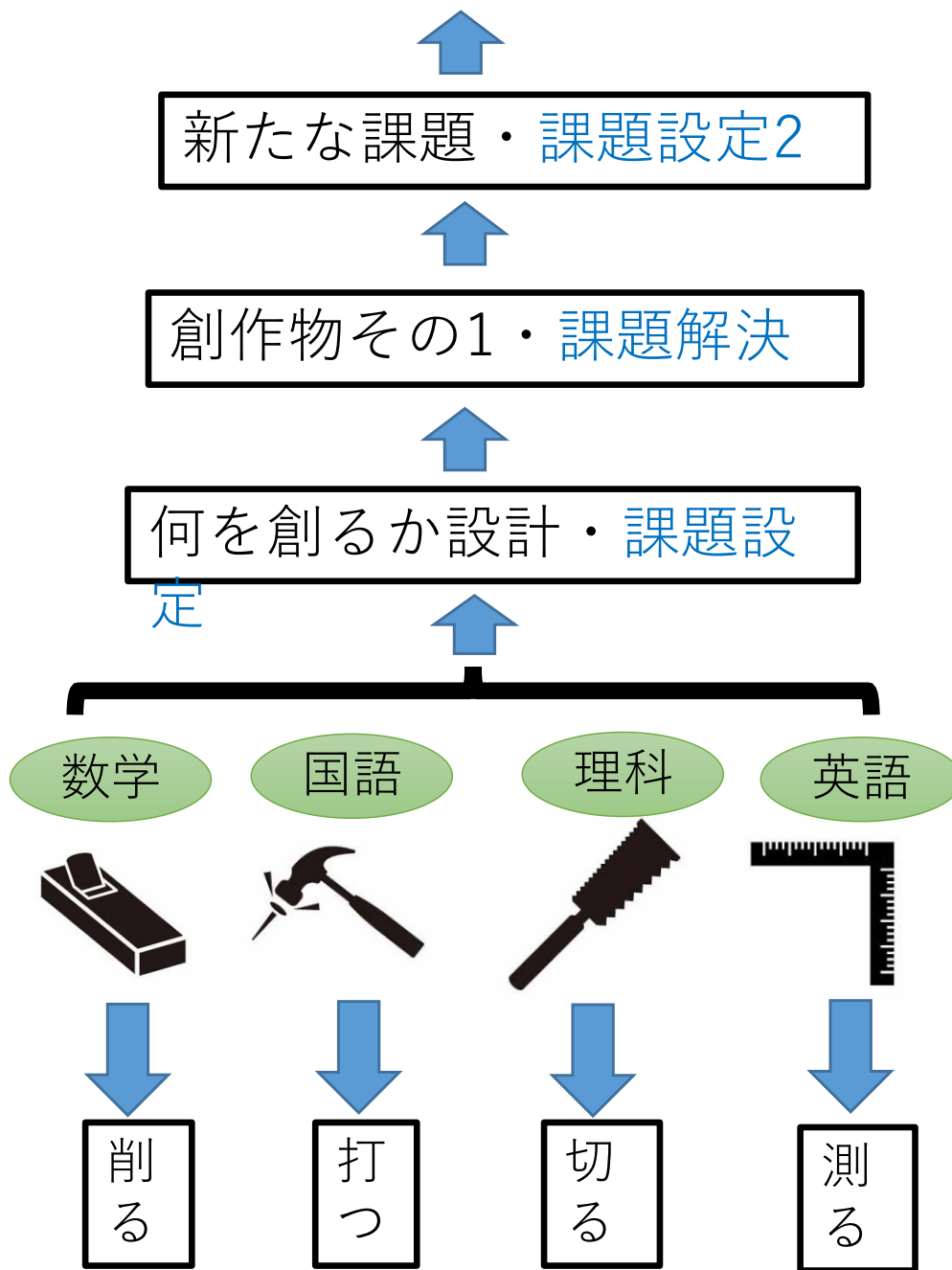
→サッカーの試合がすでに始まっている。選手としてサッカーのことを何も知らない者が放り込まれている。

何の役に立つのか分からない

一般化
抽象的



個別化
具体的



ゴール別々
評価困難

新たな学
び

方向が逆

これまでの勉
強

同じゴール
評価容易

学習理論の比較

	行動主義	認知主義	構成主義
知識の捉え方	知識は、客観的にこの世界に存在するもの 「普遍的な知識」を人から人へ伝達できると考えている（客観主義）		知識は相対的なもの。人や道具との相互作用によってその意味が各自の中に見いだされ、知識が構築される
学習とは？	教師が計画した「刺激」に対し、生徒の「反応」を繰り返すことによって望ましい方向に変容させること	生徒の頭の中で何が起きているか、記憶や認知のメカニズム(感覚・作業記憶・長期記憶等)を踏まえた学び頭にいった知識を使う機会を設け長期記憶へ転移	他者や道具との相互作用によって自分の中に知識が構築されること。具体的には、経験→内省→応用できそうな理論に概念化→新たな場面でその理論を試す「経験学習理論」
学校の学習	教師が問題を出題(刺激)生徒が回答(反応)させる中で行動を変容させる	生徒が与えられた情報を頭の中の既存知識と関連付けて新たな知識を習得する 学習目標、授業設計は教師主導	生徒が周囲の人や道具と関わる中で、個人または仲間と協働しながら物事の意味や知識を構築する

参考：ディビットパーキンス「学習のイノベーションの未来

「構成主義」に基づく学びとは

- ・ 客観的に正しい知識が元々あるのではない
- ・ 他者と関わるなかで互いに通じ合える言語や概念が作られる
- ・ 周囲にあるモノをいじるうちに道具としての使い道が発見される

⇒ 周囲との相互作用によって学ぶ

⇒ 教師が生徒へ「伝達」できるものではない

松井 大助 青木久美子 (放送大学)

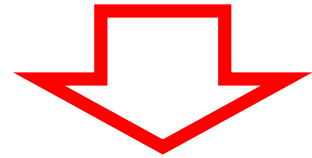
構成主義的学習モデル

経験学習理論

- 1 具体的な**経験**を積む
- 2 その経験がなぜうまくいったか、何が問題だったかを多様な視点から**内省**する
- 3 内省をもとにこの先も応用できそうな理論にまとめる **概念化**
- 4 新たな場面でもその理論を**試してみる**

経験学習理論（補足）

「1 具体的な**経験**を積む」について



どのような心持ちで経験し、本人がどう受け取ったかによって「学び」の質は変わる

⇒ 単に経験すれば学べるわけではない

経験学習理論（補足）

経験から知識が形成されるまでの**プロセス**を重視する

⇒ 試験等の結果だけでなく、望ましいプロセスで学ぶことができたかどうか
も評価する

⇒ 教師はどのような活動をすれば学びが深まるか、**学習環境をデザイン**する

社会構造が大きく変わり

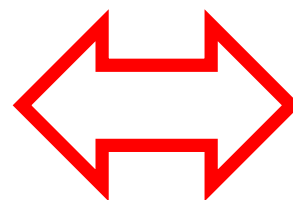
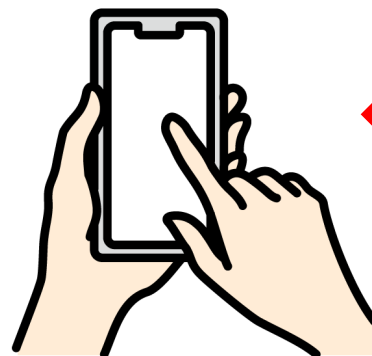
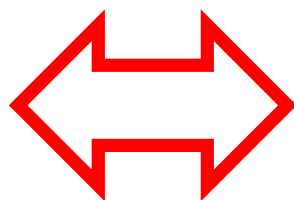
**「学びの意味合いそのもの
が変化している」**



30年

現在

30年



計算能力 100万倍
記憶能力 100万倍
通信能力 100万倍

計算能力 100万倍
記憶能力 100万倍
通信能力 100万倍

IQ=100 → 10000

150年間変わらない学校システム

みんなで同じことを、
同じペースで、
同じようなやり方で、
同質性の高い
学年学級制の中で、
出来合いの答えを
勉強する、
ベルトコンベヤー型のシステム



100年前の尋常小学校の復元
(トリップアドバイザーより)

AI時代には教育も変わらなければならない

「誰もが納得する理想の答えを誰よりも速く見つける力」これがエリート力、しかしこれは全てAIが行なう

感じることの教育=**マニア**になること
と→自分の好奇心の赴くままにある分野で泣くほど好きになること。

ロジャー・ハートが提唱した「参加のはしご」

高

主体的に関わる程度

低



⑧子どもが着手し
おとなとともに決定する

⑦子どもが着手し
おとなの指導を受ける

⑥おとなが着手し
子どもとともに決定する

⑤相談され
情報を受ける

④役割を与えられ
情報を受ける

③見せかけ

②飾り

①あやつり

参加の度合い

非参加

共同エージェンシーの太陽モデル

0	沈黙	生徒が貢献できると生徒も教師も信じておらず、教師がすべてを主導し、すべての意思決定を行うのに対して若者は沈黙を通す。
1	操り	主張を正当化するために教師が生徒を利用し、まるで生徒が主導しているかのように見せる。
2	お飾り	主張を助ける、あるいは勢いづけるために教師が生徒を利用する。
3	形式主義・形だけの平等	教師は生徒に選択肢を与えているように見せるが、その内容あるいは参加のしかたに生徒が選択する余地は少ない、あるいは皆無である。
4	生徒に特定の役割が与えられ、伝えられるだけ	生徒には特定の役割が与えられ、生徒が参加する理由や参加の方法は伝えられているが、生徒はプロジェクトの主導や意思決定、プロジェクトにおける自分たちの役割に関する判断には関わらない。
5	生徒からの意見を基に教師が導く	教師はプロジェクトの設計に関して生徒の意見を求め、その結果について報告をするが、教師がプロジェクトに関する意思決定を行い、プロジェクトを主導する。
6	意思決定を教師・生徒で共有しながら、教師が導く	教師が開始し、進めるプロジェクトの意思決定に、生徒も参画する。
7	生徒が開始し、方向性を定める	教師の支援を借りて生徒がプロジェクトを開始し、方向性を定める。生徒は教師の意見を聞いたり、生徒が意思決定しやすいように指針やアドバイスを与えたりするが、最終的にすべての意思決定は生徒が行う。
8	生徒が開始し、教師とともに意思決定を共有する。	生徒がプロジェクトを開始し、意思決定は生徒と教師の協働で行われる。プロジェクトの主導権や運営権は生徒と教師の対等な立場の上で共有される。

運動出力



変換

組み換え・合成



感覚入力

表現

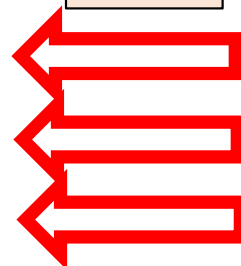


意識
(理論)



経験

感覚所与



五感

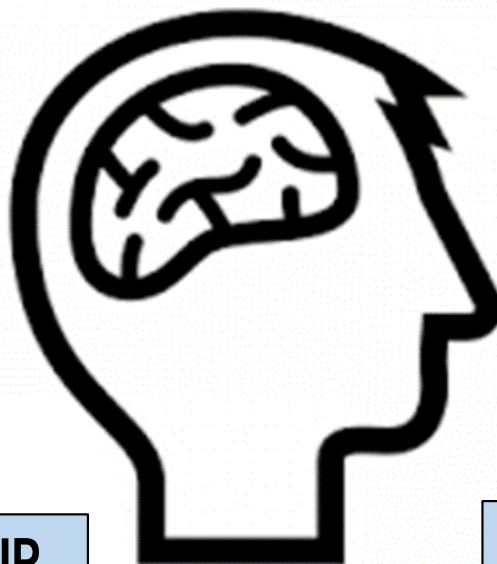
現実・事実



課題解決

創造力

話す・書く
・描く



課題発見

想像力

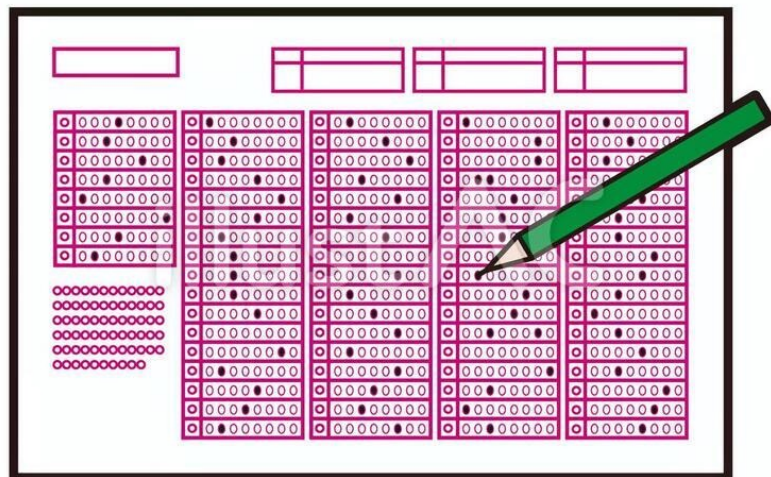
見る・読む
・聞く

出来るだけ多く出力することでUP

少ない入力でも補うことでUP

答案用紙のちがい

マークシート



一点に収束

自由記述



無数に発散

日本国内 新傾向入試問題例

表からいくつかの都道府県を指摘し、それぞれの特徴を比較した上で、その比較から考えられる課題とその課題が生じた背景について述べ、その課題を解決するために考えられる方策を1200字以上2000字以内で考察しなさい。

自身の課題として想定していた地域の課題やその解決への貢献、大学での学修や活動に関して、出願書類作成から今日までの期間になにを考え、調べ、行動してきたか。自分自身の活動を振り返って具体的に説明しなさい。字数制限は設けない。

日本国内 新傾向入試問題例

グラフを比較して男女で共通する点と異なる点を指摘し、それぞれについて、そのような傾向が生じる理由を800字以上1200字以内で考察しなさい。

対面授業が2019年度までのように実施されない場合、あなたの入学後の勉学・研究・活動などにどのような影響があると思いますか。また、課外・校外での活動に制約がある中で、どのように勉学・研究・活動を進めていこうと考えていますか。現時点での考えを601字以上800字以内でまとめてください。

問い

**「教育」について、あなたが感じたこと、
考えたこと、気が付いたこと、新たに学ん
だことを書き留めておいてください。**

問い

「未来創造」は、創造力を鍛えるために常識にとらわれずに多様な見方をして、自分だけでなく他者との対話や考えを学ぶ正答ない授業です。

このような授業について、あなたはどのように思っていますか？